

新渡戸稻造記念講演
フレンズセンターの思い出
出会いと喜びを語る

島中ルイザ

私はフライデルフィア郊外にあるヨーリジスクールに入学しました。勉強熱心な学校でしたが、遊ぶことも上手でした。高校卒業にあたって生徒は作文を書きます。私の同級生のテーマは「礼拝出席は強制するものではない」でした。それは礼拝の意味を考える機会になりました。

高校を卒業して、スワスモア大学に入学しました。高校大学時代の60年代は、ジョン・F・ケネディ大統領、マルティン・ルーサー・キング牧師、ロバート・ケネディ上院議員が暗殺され、ベトナム戦争拡大、学生運動などで、落ち着いて勉強できませんでした。キング牧師が暗殺された時は、大学で一日中沈黙礼拝が行われ、とても悲しい一日でした。

学生は抽選で徴兵されました。同級生の中には、カナダに亡命したり、

徴兵を忌避して刑務所に収監された人もいました。良心的兵役拒否をする学生には、先生や友人が証明書類を作成しました。私も友だちのために書きましたが、その人は退学して、2年間病院で代替勤務をしました。70年、大学を卒業したとき、このようないい生活から離れたかったこと、広い世界を見たいという気持ちもあり、普連士学園の教師に応募しました。面接官はエスター・B・ローズやサラ・スワンなどの数人の婦人たちで、みんな戦前から日本のフレンズとかかわりがあって、日本を大切に思っている人たちでした。

日本で住むことになったフレンズセンター（FC）主事の小堀雅さんは、数え切れないほどのことを教えてもらいました。炊飯器の米粒を残さず食べること、短い紐まで捨てないで物を大切にすること、忙しくても人の話を聞くことを学びました。彼女はFCで、いつもお客様を温かく迎え、朝夕の食事も作って、献身的に奉仕をしていました。



314号

2021年1月号

くすしきみ恵み われを救い
まよいしきの身も たちかえりぬ
おそれを信仰に 変えたまいまし
わが主のみ恵み とうときかな

讃美歌21 451番

80年、私はFCの主事になり、夫と6歳、2歳の娘とともに住みました。今のように電子メールがないので、宿泊者との連絡にも苦労しました。チームに分かれて北朝鮮地で調査を終えた後、FCに集まり、2週間滞在して、それぞれが調査したことをレポートにまとめました。

彼らはFCで落ち着いて作業ができたと感謝されました。このようにFCは、その時代その時代に重要な役割を果たしてきました。

さにモンスターの月でした。私たちが主事をしていた4年間に550人が宿泊しました。（15か国）が宿泊しました。忙しかつたけれども、すばらしい経験でした。良い働きをしている人たちを支えることができたことは喜びました。

日本年会が建物の維持に苦労していることを知っています。建物は人が住まなければ朽ちていきます。私はFCが好きです。この建物をどうするかを慎重に考えてほしいと思います。

窓

ずっと以前、会堂のオーブンハウスに参加された御老人が天井を見上げて「いやー良いですね」と仰しやる。聞けば無教会の方であるからして、集う場所が定まつていないとのこと。個人宅や貸ホーるを都合しているらしかった。難儀な事である。これまた、だいぶ前、小柄な中国系の方だつたが、オーストラリアの会員の方が来水された。

会堂が幼稚園として使われ、平日も人の出入りがあることを大変うらやましいと言われた。彼女の会堂の周辺は、すでにさびれて、日（加畑暁美）

曜礼拝会のみの集会所としての維持管理が厳しいということだった。

安心して集える場所と生業が与えられているとは、なんと有り難いことか。十年前の東日本大震災で、一度更地になつたものの立派に再建され、幼子達が日々元気に通園している。「昔、主イエスの播きたまいまし、いつも小さき生命の種、芽生え育ちて、地の果てまで、その枝を張る樹とはなりぬ」

（讃美歌234番）新型コロナウイルス非常事態宣言が再度発令されました。みなさんお元気で。

コロナ禍の中どのように信仰を深めているか

2020年年会総会を新型コロナウイルス感染症が収束しないなかで、11月21日～22日、土浦月会会堂で開催しました。会場参加18人に加えて、Zoomによる参加も12人ありました。話し合いで、各月会が「コロナ禍の中でどのように信仰を深めているか」をテーマに発表しました。

大阪月会

大阪月会では、3月からZoomによる礼拝会を開催してきました。遠方でなかなか参加するのが困難な会員や会友の方々にも参加していただき、お互いに繋がる時間を持つことができたのは嬉しいことでした。

黙想の家では、緊急事態宣言後も施設の利用を許可していただき、オンラインのみの礼拝会は、4月から6月まで、7月には黙想の家で数人集まりオンライン礼拝と同時に行ないました。会員同士の連絡もFacebookやメールで行ない、お互いの近況も知ることができました。

緊急事態宣言後、オンライン礼拝会をするのを自然な流れと思えたのは、私自身、この十数年AWPSの委員会活動がいつもオンラインで行われていたことに起因すると思います。そしてアジア地域でコロナウイルス感染拡大がどのような影響を与えているのかを知り、日本がどのように状況であるかを伝えることもで

きました。

World Quaker Dayでは、スイスジュ

ネーブのQUNOの方々が活動の講演を、AWPSはオンラインセミナーを開催し、オーストラリア、ニュージーランドをはじめインドや香港、韓国から多くの参加者と共に繋がり、グローバルなフレンズの連携を感じることができました。

コロナ禍は、私にとって人とのつながりについて考えることと自分自身をふりかえる機会になりました。

（上村バッケス尚美）

土浦月会

年間聖句に支えられて

フイリピの信徒への手紙1章9節から10節を年間聖句として決定したのは2019年12月のこと、開けて2020年が新型コロナウイルスによって世界中の人が悩まされようとは予想もしなかつた」とでした。この聖句により私たちは、この新し



2020年 年会総会

於 土浦月会会堂

11月初～礼拝時間の短縮（6分から30分）、行事等の中止（イース

ター礼拝会・月会修養会・月会総会は実施）、会堂での飲食をやめ、教会学校、大下牧師の聖書の話を一時休止、薬物依存症自助グループ関係（外部）の集会も休止とし、これは今なお再開されていません。

募金活動の実施

コロナ禍で経済的影響を受けて

現在の状況

年会総会は無事終了しましたが、地域では新型コロナウイルスの感染拡大が続いています。まだ当分はウイルスと共に緊張した生活が続くものと思われます。ただひたすら忍耐が求められる時、この会堂で礼拝の時が持てることは、言葉に尽くせない感謝です。

（川田敏子）

東京月会

クラススターが起きれば、社会的にも非難を免れません。しかし、東京月会は事務会で話し合い、「できる限りの感染予防策をとり、通常どおりに日常を維持しよう」と決めました。それは次のような理由です。①会員以外の参加者が多く、突然やつくる人もある。それらの人のために、開けておく。②コロナによって精神的不安やストレスのある人に、

い現実を正しくとらえようと努め、常に何が大事かを考え、出来る限りの対応をして、この会堂での礼拝会を1回も休まず守つてきました。

コロナウイルス禍への具体的対応として寄付ができました。日曜学校担当工夫と努力、各自常時のマスク着用、3密（密閉・密接・密集）回避の

いる人たちへの募金活動を実施、教会学校の生徒も参加しました。募金額は予想以上で、茨城ダルク・フードバンク茨城（欠食児童支援）、九州の水害地にも日赤茨城支部を通じて寄付ができました。日曜学校担当者が生徒さんたちに説明をした時、みんなが一斉に歓声を上げたことは非常に印象的でした。



(伊藤めぐみ)

水戸月会は、4、5月の1か月ほど礼拝会を中止しました。再開した際、皆で集い共に過ごす礼拝の重要さを再認識したと、徳田さんから報

病気の人がいて、感染を恐れている人もZoomなら参加できる。④クエーカーに関心を持つ人への伝道になる。などがあげられます。

コロナ後も、オンライン礼拝を続けていきたいと考えています。ただし、感話で個人的なことを話す場合もあるので、IDは、一般には公開しません。

静かな祈りの場を提供する。③ともに礼拝することで信仰が強められる。しかし、感染しやすい病弱者や高齢者、乳幼児がいる会員への配慮が必要です。そこに若い会員から、オンラインによる礼拝が提案され、4月から礼拝のZoom中継を開始しました。毎週7～10人ほど、会堂出席者とほぼ同数が参加しています。

一般書簡

キリスト友会日本年会は、2020年11月21～22日、「知る力と見抜く力とを身に着けて、あなたがたの愛がますます豊かになり、本当に重要なことを見分けることができますよう」（ファリピの信徒への手紙1～9～10）をテーマに、土浦月会会堂において定期総会を開催した。

告いただきました。私もなかなか礼拝に出られない現在の自分の状況において同じ思いです。

個人的にはコロナ禍で信仰が深まつたとは言えませんが、これまで細々とでも友会につながり培ってきたものが、蓄えとしてこの状況で役立つ

新型コロナウイルス禍の中での総会開催であつたが、神の導きと恵みによつて30名（Zoom参加12名を含む）が出席したことは感謝である。とくに今年はオンラインによって、地理的な隔たりを越えて、大阪や水戸の会員とも顔を合わせて意見交換ができた。

いて「東京月会会堂および年会所有地の将来計画検討委員会」を設置することを決定した。

また、事務会において、2019年の活動状況および決算報告ならびに2020年の活動計画と予算を承認した。

ネットに接続していなくても、同じ時間帯に各自が自宅で静かな時間を共に過ごす意味をあらためて意識した。水戸月会は一時期礼拝を休んでいたが、再開したときに共に集まつて礼拝することが大切だとあらためて感じ、会員同士の繋がりと信仰も

深めているかのテーマで、4つの月会から報告があった。土浦月会では、コロナ禍で困難な状況にある人々への献金を行った。日曜学校に通っている児童も、自らの献金が役に立つことがわかり、みなのが輝いた。東京月会では、会堂での札拝とZoomによる札拝を続けている。札拝に集うことによって信仰が強められ、不安やストレスを抱える人たちにも、

また、新渡戸稻造記念講演は畠中
ルイザさんが、普連士学園の英会話
講師として来日して以来、フレンズ
センターの主事として、多くのフレ
ンドと交わった思い出を語つた。
　　まだ新型コロナウイルスの猛威
が終息しない中で、世界の人々とフ
レンズの心の平安と健康を祈つてい
る。

静かな祈りの場を提供する意味がある」と考へた。大阪月会もZoomによる礼拝会を月1回行い、海外とのつながりを強めている。また、インター

2020年11月22日
キリスト友会日本年会
代表書記 武田眞知子

たように感じています。ジョージ・フォツクスの書簡の中にこんな言葉がありました。「さまざまなことを考えて焦らないように心がけ、それらすべてを超えた神の力のなかで生

込むような状態の時も、人間の様々な思いを超えたところのものとのつながりに心を向ける自分がいて、それが歯止めとなつて、やり過ぎすることができたように思いました。

三人の先達を偲んで

大津光男



桐生富久さん

衣として携わり、レンズ奉仕団が人ホームやディテイ開設した時、理事や職員として直接事務に従事し献身されてきた。福西基さんは10歳まで小友幼稚園長を

昭和60年、普連土学園に転職した私にとって、桐生さんと福西さんは、当時評議員として、また、時期は違つたが議長として尽力していただき、小泉さんは1期4年間だけではあつたが校長として私の上司でもあつた。また、普連土学園に転職した日と全く同日に少友幼稚園が学校法人として認可を得たので、その時園長の小泉さんに請われて理事となり、現在に至つてはいる。

小泉文子さん



主に教育や社会福祉事業等に生涯をかけたクエーカーとして信仰生活を送っていた三人の先達が、2020年の後半にこの世での働きを終えられた。私がこの三先達に初めて会つたのは、それぞれ異なつた時・所であつた。が、ちょうど同じ所で顔を合わせたのは、宣教70年記念を祝つ

た。前職は公立学校で校長を務められ、下妻月会の精神的支柱であった。小泉さんは、終身宗教法人水戸基督教友会の代表であり、少友幼稚園の園長・理事長や理事・顧問を歴任された。

和43年に胃を切除し、下妻で療養していた数か月間は下妻の礼拝会に出席した。昭和49年に東京に転勤してからは、日本年会で福西さんや桐生さんの議長時代には記録書記や監事などの役割で、自分なりに微力を尽くしたつもりである。

昭和60年、普連土学園に転職した私にとって、桐生さんと福西さんは、当時評議員として、また、時期は違ったが議長として尽力していただき、小泉さんは1期4年間、だけではあつたが校長として私の上司でもあつた。

でお会いしたのである。

和43年に胃を切除し、下妻で療養していた数か月間は下妻の札拝会に出席した。昭和49年に東京に転勤してからは、日本年会で福西さんや桐生さんの議長時代には記録書記や監事などの役割で、自分なりに微力を尽くしたつもりである。

昭和60年、普連土学園に転職した私にとって、桐生さんと福西さんは、当時評議員として、また、時期は違うが議長として尽力していただき、小泉さんは1期4年間、だけではあつたが校長として私の上司でもあつた。

また、普連土学園に転職した日と全く同日に少友幼稚園が学校法人として認可を得たので、その時園長の小泉さんに請われて理事となり、現在に至っている。

義父福西基を想う

浅野房雄

泉さんからは記録をきちんと残しておることを学び、福西さんはどんな境遇にあっても我慢強く忍耐することを示してくれた。異なったタイプの三先達の信仰のあらわれ方ではあつたが、クエーカーの多様性について生き方を通して教えていただけた。ここに三人を偲び安らかなる眠りを祈つてゐる。　（水戸月会）

聖書という本があることを教えてくれた私の中学生のときの教頭先生、後に三女と結婚し生活を共にする中で、信仰を持って生きることのすばらしさと大事さを生きざまで教えてくれた義父。この恵みに改めて感謝をしている。

編集後記

今号では、コロナ禍における各日会の取り組みが紹介された。いつも知りたいウイルスとの戦いで、世の中全体に閉塞感が漂っている。

そんな中でも、会員一人一人が納得する無理のない形での礼拝が続いたられば、と思う。明けない夜はなにことを信じて。（由香里）

キリスト友会日本年会
東京都港区三田4～8～19
TEL
・ FAX 03 (3451) 7002
南部雅美・伊藤めぐみ・加
畑暁美・鯉淵博子・山田由
香里
編集

勤し、遅くまで仕事をしていたあのエネルギーは、旧制中学生のときには

3人の晩年にはお会いする機会も減つた。が、少なくとも半世紀以上、

キリスト教信仰への導きを受け、帰米の際に幼稚園のあとを託されたばんフオルドご夫妻への忠実な心と、友会信仰の証しとであつたのかな?